

令和2年10月13日(火) 北海道新聞

大学、地域 力合わせ発展を

東農大キャンパスに拠点施設

【網走】市と東京農大生物産業学部(網走)、市内の経済団体が立ち上げた「地域課題戦略推進協議会」の拠点施設「オホーツク・イノベーション・ベース」が、東農大オホーツクキャンパス内に開設された。

キャンパス3号館1階の食堂を改修し、イスや机が置かれ、協議会の職員が1人常駐する。学生が自由に使えるほか、地域の人と学生、教授らが話し合う場所としても想定されている。開設式が9日行われ、水



テープカットをする(左から)水谷洋一市長、高野克己学長、吉田穂積・生物産業学部長

谷洋一市長らがテープカットをした。東農大の高野克己学長は「大学と地域が力を合わせて発展していく場として、地域の方にも活用してほしい」と話した。

協議会は5月に設立。自治体や民間団体が東農大に調査・研究を依頼する際の窓口だった生物産業学部併設の「生物資源開発研究所」が4月、東農大の世田谷キャンパス(東京)に統合されたため、研究所の機能の代替組織として役割を果たしていく。(尹順平)